

张召堂 / 著

中国 开发区 可持续发展战略



中共中央党校出版社

中国开发区 可持续发展战略

张 召 堂 著

中共中央党校出版社
· 北 京 ·

图书在版编目 (CIP) 数据

中国开发区可持续发展战略/张召堂著. —北京: 中共中央党校出版社, 2003. 12

ISBN 7 - 5035 - 2838 - 9

I. 中… II. 张… III. 经济开发区 - 可持续发展 - 经济发展战略 - 中国 IV. F127.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2003) 第 099709 号

中共中央党校出版社出版发行

社址: 北京市海淀区大有庄 100 号

电话: (010) 62805800 (办公室) (010) 62805816 (发行部)

邮编: 100091 网址: www.dxcbs.net

新华书店经销

中共中央党校印刷厂印刷 河北三河丰华装订厂装订

2003 年 12 月第 1 版 2003 年 12 月第 1 次印刷

开本: 880 毫米 × 1230 毫米 A5 印张: 12.5

字数: 324 千字 印数: 1—5000 册

定价: 22.00 元

序

赵云华

我国1980年设立第一个经济特区，1984年设立第一个国家级经济技术开发区。至今，已经走过了20多年的历程。20多年来，开发区坚持“三为主，一致力”的发展方针，以引进外资为主，以发展工业为主，以出口创汇为主，致力于发展高新技术产业。各项建设事业蓬勃发展，取得了很大的成就。

目前，我国各类国家级开发区和省级开发区已经走过了起步阶段，步入了重要的发展时期。随着我国改革开放的不断深入，开发区的自身状况及其所面临的外部环境正在日新月异地发展。在新的历史条件下，开发区如何在已有的基础上总结经验，扬长避短，努力搞好“二次创业”，力求自身的可持续发展，成为开发区人及关心开发区工作的各界人士共同关注的热点问题。

《中国开发区可持续发展战略》一书，系统地研究了开发区人共同关心的问题，详尽地分析了开发区面临的挑战和机遇，深入地阐述了我国

开发区发展的理论问题，提出了开发区发展的诸多想法和理念，本书对开发区理论问题的研究，无疑是极好的奉献，值得读者一阅。

本书的作者张召堂同志，曾任河北省沧州经济技术开发区管理委员会主任，多年来，他坚持工作与学习并重，曾先后两次赴日本公费留学，分别以留学研究生和客座研究员身份，系统地学习了管理学和区域经济学理论。以后又在北京大学名师指导下攻读经济学博士学位。作者努力学习，刻苦实践，边工作边总结，边搜集资料和撰写本书。此种精神，值得我国各地开发区的领导同志和开发区人学习。作者搜集的资料很丰富，付出了很多的辛苦，资料中个别数据如有不准确的情况，谨请读者提出并谅解。借此落笔的机会，恳请更多的开发区同仁写出你们的著作，以飨读者。

2003 年 11 月

（作者为中国开发区协会原会长）

前 言

1978年党的十一届三中全会以来，我国确立了改革开放的基本国策，在经济领域采取了一系列的政策措施，取得了举世瞩目的成就，而创办开发区便是其中的一项重大战略，开发区的蓬勃发展有力地推动了我国的改革开放进程和区域经济的发展。从1979年7月中央批准深圳建立经济特区开始，20多年来，中国的开发区从无到有，从起步到发展，目前已形成了形式多样、功能齐全、遍布全国的开发区体系。开发区在我国的改革开放实践中很好地发挥了经济体制改革的“试验场”和对外开放的“窗口”功能，在制度创新、产业升级、对外开放等方面起到了极为重要的示范、辐射和带动作用，已经成为所在区域乃至全国新的经济增长点。

党的十六届三中全会作出了完善社会主义市场经济体制的决定，这必将对我国开发区的可持续发展起到进一步的推动作用。

一、开发区的涵义

据有关学者研究，世界上各种开发区名称繁杂，达四十几种之多，其功能内容、管理形式也呈多样化，有的甚至一个国家或地区从整体上全部辟为自由港（如新加坡、香港等）。为了方便研究，便于读者理解，我们有必要首先将开发区的涵义界定清楚。

所谓开发区，从广义上讲就是为达到一定经济目的，由政府主导，在一定区域内实行有别于主权国家或地区其他区域的特殊政策而设定的经济区域。从某种意义上讲，每一行政区划或更大区域内都存在经济开发问题，如我国现在正在实施的西部大开发，但是这种意义上的开发是更加广泛意义上的社会经济发展，它承载了更多

的社会功能，更加综合。

从狭义上讲，开发区是指一个国家或地区，在对外经济技术贸易或地区经济开发活动中，在一定区域内采取较境内其他地区更加开放自由之政策，实行诸如减免关税、金融支持、简化审批程序等一系列的特殊政策，并由政府或其他法人组织承担初期开发任务，完善基础设施，建立服务管理机构，创造有利于内外投资者的投资环境，以达吸引投资、促进国际贸易和区域经济发展之目的而设定的特殊经济区域。

本书所讲的开发区指的是狭义上的开发区。在我国，它包括经济特区、新区、经济技术开发区、高新技术产业开发区、保税区、边境经济合作区、旅游度假区、台商投资区、出口加工区、农业生态区、保税仓库等；在国外，它包括自由港、航空港、转口区、自由贸易区、免税贸易区、出口加工区、投资促进区、科技工业园等。

本书就是在上述定义的基础上来划定开发区的范围，并对它们进行比较研究的。国内外学者对开发区的称谓大致有三种：一是世界经济特区，二是自由港区，三是自由经济区或经济自由区。为取一致，在研讨国外开发区时，我们亦称之为自由经济区，但是在进行国内开发区的研究中，我们仍用开发区这个概念。这是由我国经济体制的特殊性所决定的，虽然国内外的开发区或自由经济区有着一定的共性，但我国的开发区仍然处于向市场经济体制转轨的过程中，因而并不完全相同。

二、中国开发区可持续发展问题的提出

在“三为主，一致力”方针的指导下，经过 20 余年的发展，我国的开发区已经建立起了较为雄厚的产业基础，具备了相当的综合实力，而且与国内其他区域相比，开发区具有更加接近国际惯例的良好的投资硬环境和软环境，有实现进一步更大发展的潜力。作

前 言

为我国市场化改革的“试验场”和对外开放的“窗口”，开发区的发展为我国的改革开放起到了很好的示范、辐射和带动作用，已经成为所在区域乃至全国重要的经济增长极。作为技术的窗口、管理的窗口、知识的窗口和对外政策的窗口，以深圳为代表的经济特区的蓬勃发展，为我国市场经济体制改革注入了巨大的活力，为我国社会主义市场经济体制的初步建立作出了不可磨灭的贡献；以大连、天津、苏州、广州等为代表的国家级经济技术开发区，已成为我国吸引外商投资的生力军，为外商了解我国的投资环境，来中国投资发展起到了很大的作用；以中关村为代表的国家级高新技术产业开发区，已经成为我国发展高新技术产业的基地，为加速我国高新技术产业的发展，跟上全球新一轮高技术革命的步伐起到了很好的带动作用；以上海外高桥、深圳福田为代表的国家级保税区，十多年来很好地发挥了贸易、仓储、出口加工和现代物流等功能，有力地促进了我国对外贸易的发展，在更大范围内、更深层次上加快了我国与国际市场的接轨。这些开发区在所在区域的经济发展中发挥着越来越重要的作用。

目前，我国的开发区大都走过了起步阶段，正在向着更高的发展阶段迈进，而且其发展所面临的外部环境也发生了很大变化。从国内来看，随着经济体制改革的不断深化，社会主义市场经济体制已在全国范围内初步建立并逐步走向完善；我国的对外开放不断向纵深发展，开放水平不断提高，现已基本形成沿海、沿边、沿江、内地相结合的多渠道、多层次、全方位的对外开放新格局；随着西部大开发战略的实施，我国的改革开放和现代化建设正在由重点开发阶段迈向全面发展阶段；近年来，我国的市场状况发生了很大的变化，已经从卖方市场转向买方市场。从世界范围来看，经济全球化加速发展，加入 WTO 以后，我国经济将全面融入经济全球化进程，与全球分工体系的联系更加紧密；知识经济时代已经到来，以信息技术为核心的新技术革命在全球范围内迅猛发展，科学技术正

在深刻影响着人们的生产和生活方式，推动着经济结构、生产组织和经营模式的变革，使社会生产力不断产生新的飞跃。这样，在新的国际、国内形势下，面对经济全球化和知识经济时代带来的机遇和挑战，在我国改革开放和现代化建设的新阶段，开发区如何进行“二次创业”，实现自身的可持续发展，就成为摆在所有开发区人面前的全新历史课题，这也正是本书——《中国开发区可持续发展战略》将要着力探讨的主要内容。

三、本书的结构

为了使读者能够清晰地了解作者的研究思路，现对本书的大体框架结构作一简单介绍。

本书的内容可分为四大部分：

第一部分：理论基础部分（第一章）。该部分简要评述了可持续发展理论、区域发展理论和国际分工贸易理论的发展过程和一些有代表性的观点，作为中国开发区可持续发展战略研究的理论基础。

第二部分：研究准备部分（第二——四章）。该部分作为中国开发区可持续发展战略研究的研究准备，简要回顾了国外开发区的发展历程（第二章），介绍了我国开发区发展的历史与现状（第三章），指出了新形势下我国开发区所面临的机遇和挑战（第四章）。

第三部分：研究主体部分（第五——十章）。这一部分是中国开发区可持续发展战略研究的主体，涵盖了开发区进行“二次创业”、实现可持续发展的几乎所有方面的内容，形成了较为完整的理论体系。其中第五章从可持续发展的角度出发，论述了开发区如何使经济发展与人口、资源、环境相适应，以实现经济社会的全面、协调发展。第六——八章分别给出了中国开发区可持续发展的宏观机制、中观机理和微观基础，这三章是本书的核心内容。第九章从观念创新、制度创新和技术创新三个层次，论述了开发区可持

续发展的创新环境。第十章在前面论述的基础上，进一步指明了新形势下我国开发区可持续发展的新方向——建设“数字开发区”。

第四部分：实践检验部分（第十一章）。成功的经济理论必须能够经得起实践的检验。本书的最后一部分给出了中国开发区实施可持续发展战略的成功范例：我国第一个经济特区——深圳特区、我国改革开放的新象征——浦东新区、我国开发区的典型代表——天津经济技术开发区、借鉴新加坡经验实现超常规发展的开发区——苏州工业园区以及中国高新技术产业的品牌“代言人”——中关村科技园区，以此作为中国开发区可持续发展战略研究的实践检验。

本书适合三大类读者阅读使用：首先，它可以作为开发区工作者学习和工作的辅助资料，帮助他们系统地了解中国开发区的发展历程、外部环境、相关政策以及园区运作等全方位的内容，为其更好地开展工作提供可资借鉴的经验；其次，本书也可以作为相关理论研究者的学习和参考资料，为他们继续深入开展有关开发区的研究提供方便；此外，本书还可以作为一般读者的普及读物，为普通社会公众了解我国开发区开发建设实践提供便捷的途径。

序 文

1978年の共産党第十三回三中全会以来、中国は改革開放の基本国策を確立し、経済分野で一系列の政策措置を実行して、世界から注目される成果を得ました。開発区を創設したのが重要な戦略だと言えます。開発区の順調な発展は、中国の改革開放を推進し、区域経済の発展を促進しました。1979年7月中央政府が深圳経済特区の成立を許可してから、20年以来、中国の開発区は順調に発展し、その形式も多様化し、機能も揃い、全国に分布した開発区体系を形成しました。開発区は中国の改革開放の実践において経済体制改革の試験場であり、また对外开放の窓口の機能を発揮して、制度創造、産業のレベルアップ、对外开放の面での重要なモデルとなり、促進的役割を果たして、既に地域及び全国の新たな経済成長地点になりました。

一、開発区の定義

関係学者の研究によって、世界の各種開発区の名称は多く、40種以上もあります。その機能、管理形式も多様化しています。ある国家、地区は全体から見ると全部自由港になっています（例えばシンガポール、香港）。研究のため、読者の理解のため、開発区の定義を明確にする必要があります。

開発区と言えば、広い意味から言いますと、一定の経済目的を達するため、政府の主導で、一定の地域内で主権国家と地区の政策と違う特殊政策を実行して設定した経済区域のことです。ある意味から言えば、それぞれの行政地区あるいは更に大きな区域内

に経済開発問題が存在しています。例えば、わが国が実施している西部大開発です。しかし、この意味の開発はもっと広い意味の社会経済の発展で、もっと多くの社会的機能をもった総合的な開発です。

ある意味から言えば、開発区は一つの国家或いは地区が対外経済技術貿易、或いは地域経済開発活動の中で、一定の区域内に更なる開放自由の政策を実施して、例えば関税の減免、金融支援、手続の簡素化などの政策を実施して、そして政府或いはほかの法人組織が最初の開発任務を担って、基礎施設を改善し、サービス管理機構を設立し、内外からの投資者に投資環境を提供し、投資を呼び込んで、国際貿易と区域経済の発展を促進する目的で設定した特殊な経済区域のことです。

上に述べた開発区が一定の意味をもった開発区です。わが国では、経済特区、新区、経済技術開発区、高新技术産業開発区、保税区、国境経済合作区、旅行観光区、台湾商人投資区、輸出加工区、農業生態区、保税倉庫等が開発区と言えます。国外では、自由港、空港、転出区、自由貿易区、免税貿易区、輸出加工区、投資促進区、科学技術団地等が開発区と言えます。

この本は上記の定義を基礎として開発区の範囲を決め、そして比較して研究したものです。国内外の学者は開発区に対して三種類の言い方をしています。一、世界経済特区。二、自由港。三、自由経済区或いは経済自由区。国外開発区を検討する時、それを自由経済区と言います。しかし、国内開発区を研究する時にもまた開発区と言います。中国经济体制の特殊性で決まったものです。国内外の開発区或いは自由経済区は一定の共通性をもっていますが、中国の開発区は今のところ、市場経済体制に転換する中で、完全に同じではありません。

二、中国開発区の持続的発展上の問題点

わが国の改革開放方針の下での指導により、20年以上の発展を経て、中国の開発区はよりよい産業基盤を作り、相当の総合実力をもつまでになりました。国内のほかの区域と比べて開発区は国際慣例にもっと近い良好なハード面とソフト面の投資環境を備え、更に大きく発展する潜在力をもっています。わが国の市場化改革の試験場と対外開放の窓口として、開発区の発展は改革開放のためによいモデルの役割を果たして、その区域及び全国的にも重要な経済成長地点となりました。技術の窓口、管理の窓口、知識の窓口と対外政策の窓口として、深圳を始め、経済特区の著しい発展は、わが国の市場経済体制改革のために巨大な活力を注入して、わが国社会主義市場経済体制の初步的成立に極めて大きな貢献をしました。大連、天津、蘇州、広州を始めとする国家経済技術開発区はわが国が外国からの投資を呼び込む主要区域となって、外国企業が中国の投資環境をよく理解し、中国に進出して投資するのに積極的な役割を果たしました。中関村を始めとする国家級高新技术産業開発区はもうわが国のハイテク産業の発展基地となっており、わが国のハイテク産業の発展を促進し、世界の新しいハイテク革命の発展に合うような役割を果たしています。上海外高橋、深圳福田を始めとする国家級保税区は十年来貿易、倉庫、輸出加工と現代的物流基地の役割を果たして、わが国の対外貿易の発展を促進し、わが国市場が国際市場への軌道に乗ることを促進しました。これらの開発区は所在区域の経済発展のために重要な役割を果たしています。

現在、わが国の開発区は初期の発展を経て、更に高い発展段階に向かっておりますが、その発展が直面する外部環境も大きく変わりました。国内の状況から見れば、経済体制改革の不断の深化に従い、社会主義市場経済体制が全国的な範囲で成立し、徐々に

完備しております。わが国の対外開放が絶えず発展し、開放レベルも絶えず緩和されております。現在、沿海、沿境、沿江、内地相互が連結した全面的な対外開放の局面となりました。西部大開発の戦略実施に伴い、わが国の改革開放と現代化建設が開発段階から全面的発展の段階に向かっております。近年来、わが国の市場状況が大きく変わって来ており、輸出市場から輸入市場に転換して来ました。世界的な観点から見れば、経済の一体化が速いスピードで進んでおります。WTOに加入し、わが国の経済は全面的に経済の一体化に入り、世界的な分業体系とよく結びついています。知識経済時代が既にやって来ております。ITを核心とする新技術革命は世界的範囲で速いスピードで発展し、科学技術が人々の生産と生活 방식に深く影響し、経済的メカニズム、生産組織と経営方式の変革を促進して、社会生産力を絶えず発展させます。新たな国際的、国内的状況の下で経済一体化と知識経済時代がもたらして来たチャンスとチャレンジに向けて、改革開放と現代化建設の新段階で開発区がいったいどのように発展して行き、自身の持続的発展を実現するのは開発区の人々の歴史課題になります。これが「中国開発区持続的発展の戦略」と言う本で検討する主要内容です。

三、この本の構成

読者の皆様に著者の考えを理解していただくために、本書の構成を簡単に紹介させていただきます。

本書の内容は四部構成となっております。

第一部：理論基礎部分（第一章）。この部分で簡単に持続的発展の理論、区域発展の理論と国際分業の理論の発展及び代表的な視点を述べております。この部分は中国開発区持続的発展の理論の研究基礎となっています。

第二部：研究準備部分（第二～四章）。この部分は中国開発区持続的発展の理論の研究準備として、簡単に国外開発区の発展歴史（第二章）とわが国の開発区の発展の歴史と現状（第三章）を紹介して、新しい状況でわが国開発区が面しているチャンスとチャレンジを述べております。

第三部：研究の主体部分（第五～十章）。この部分は中国開発区持続的発展の理論の研究主体です。開発区が「二次創業」をして、持続的発展の全体的な内容を含め、完全な理論的体系を形成しています。第五章では持続的発展の角度から開発区がどのようにに経済発展を人口、資源、環境に対応して経済社会の全面、調和発展を実現するか述べています。第六～八章で中国開発区が持続的発展のマクロ的メカニズム、中間的メカニズム、ミクロメカニズムを述べました。この三章が本書の核心的内容です。第九章に観念的創造、制度的創造と技術的創造の点から開発区持続的発展の創造環境を述べております。第十章で新たな状況下で中国開発区が持続的に発展するための新たな方向－「デジタル開発区」の建設を述べている。

第四部分：実践検証部分（第十一章）です。成功した経済理論は必ず実践の検証を通過できます。本書の最後の部分に中国開発区持続的発展成功のモデル：中国の第一経済特区——深圳特区、中国改革開放のシンボル——浦東新区、開発区の典型的代表——天津経済技術開発区、シンガポールの経験を借りて通常の発展を超える開発区——蘇州工業団地、中国ハイテク産業ブランドの「代表者」——中関村科学技術園区を取り上げ、これらを中国開発区持続的発展研究の実践検証としています。

本書は以下の読者にご使用いただけるものです。まず、開発区の職員の皆様の学習と業務用の資料として、職員の皆様に中国開発区の発展の歴史、外部環境、関連政策及び開発区の運営につい

序 文

て詳しく理解していただき、よりよい仕事をしていただくための重要な経験を提供しております。次に、関係ある理論研究者の皆様が学習される際の参考資料として開発区研究の便利を提供しております。そのほか、本書は一般読者の読物として、公衆にわが国の開発区の開発と建設を理解していただくための便利を提供しております。

目 录

I	序 (赵云栋)
III	前言
VIII	日文前言
1	第一章 开发区可持续发展的基本理论
1	第一节 可持续发展理论
5	第二节 区域发展理论
12	第三节 国际分工贸易理论
19	第二章 国外开发区的产生与发展
19	第一节 自由经济区的起源
21	第二节 国外自由经济区的发展
24	第三节 国外自由经济区发展的动因及趋势
32	第四节 国外开发区的类型及特点
43	第三章 中国开发区的历史与现状
43	第一节 中国开发区的产生和发展
65	第二节 中国开发区存在的问题
75	第四章 中国开发区面临的挑战与机遇
75	第一节 经济全球化与开发区
87	第二节 知识经济与开发区
97	第五章 中国开发区可持续发展的主要内容
97	第一节 经济的可持续发展
113	第二节 社会的可持续发展